

～「あたりまえをたやさないまち」池田町～
今年で16回目、池田町まるごと会場 “ハレの日、いけだ”
「いけだ 食の文化祭 2023」を開催します！
■令和5年11月4日(土)・5日(日) 10:00～15:00
■会場：池田町内まるごと



福井県池田町は令和5年11月4日(土)・5日(日)の2日間、町内全域で「いけだ食の文化祭 2023」を開催します。周囲の山が鮮やかに色づく紅葉の時期、自然の中で池田町の豊かな食文化を味わってください。

今回で16回目、毎年リピーターが増えている「いけだ食の文化祭」。池田町の食文化を支える生産者たちの背景を知ってほしい、交流を楽しんでほしいという思いから、会場は生産者それぞれの地元、つまり町内一円となっております。そばや新米、鮎、野菜、ジビエを使った料理のほか、木工体験や野菜の収穫など、農村ならではの魅力に触れられる店舗が約60店、池田町内を彩ります。訪れた人はガイドマップを片手に町を巡っていただくスタイルで、地元住民との深い交流が楽しめる好評です。

今回の「いけだ食の文化祭」ではお楽しみ企画として、池田町の食品加工研究支援施設「食ラボ」にて開発された新名物「いけだ玉まんじゅう」の食べ比べ企画を行います。また、毎年好評の俵担ぎチャレンジ、いけだ農村検定、農業機械乗車体験、野菜収穫体験なども実施。今年は環境への取り組みとして、町民手作りの新聞紙マイバックの配布も行います。

福井県池田町は人口約2300人、森林面積が90%を超える森に囲まれた小さな町です。心をいやす日本の原風景、作物をいつくしむ感謝の気持ち、人と人が思いやり、支えあって暮らす「あたりまえをたやさないまち」を目指しています。

「いけだ 食の文化祭2023」開催概要

■開催日程

令和5年11月4日(土)・5日(日) 10:00~15:00

※店舗により営業時間は異なります。

■会場

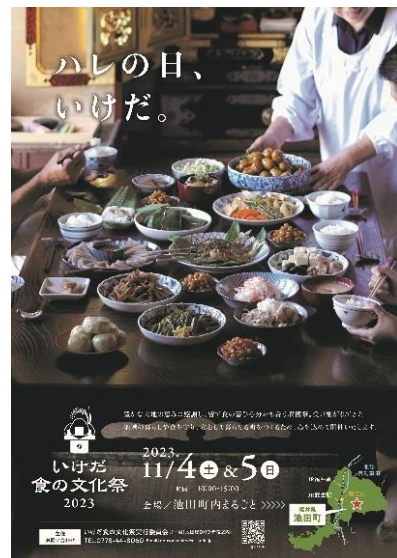
池田町内まるごと

案内所：お祭り広場、まちなちの駅こってコテいけだ

★各店舗の詳細はガイドマップをご参照ください。

ガイドマップは10月中旬から町内施設などで配布予定、
下記ホームページにも公開します。

URL <https://www.e-ikeda.jp/event/p004524.html>



「いけだ食の文化祭2023」お楽しみ企画

〈今年の新企画〉

○「いけだ玉まんじゅう」食べ比べ

池田町の食品加工研究支援施設「食ラボ」にて、今年開発されたばかりの「いけだ玉まんじゅう」をお祭り広場にて販売します。まんじゅうといえばあんこのイメージが強いですが、このまんじゅうは池田町ならではの食材が満載。地元野菜たっぷりの「豚だいこん」と「かぼちゃ煮」、池田で捕獲された鹿肉を使った「鹿すき焼き」の3種類を提供予定です。ぜひ、食べ比べてみてください。

※「食ラボ」についての情報はこちら <https://www.town.ikeda.fukui.jp/shisetsu/sonota/p002416.html>



〈農村文化の継承〉

○俵担ぎチャレンジ

昨年は200人以上が参加した毎年大人気の企画です。1人が1年間で消費するお米が一俵（約60kg）とされていますが、昔は一俵を担ぎあげて運ぶことができれば一人前とされました。また、かつて俵編みは、冬場の農閑作業として各家で行われていましたが、現在は編むことが出来る人は数少なくなっています。農村文化の継承と昔ながらの知恵を感じてほしいという思いで、毎年この企画を続けています。場所はお祭り広場にて、男性は60kg、女性は30kg、小学生は20kgの俵担ぎにチャレンジいただけます。成功者には池田町の新米をプレゼントします。（無料／予約不要：当日受付※雨天の場合は中止）



男性大人の部



小学生の部



俵を編む分野他美雄さん
88歳（池田町在住）

○農業機械乗車体験

毎年ちびっ子たちに大人気の農業機械乗車体験を今年も開催します。普段は間近で見ることの少ないトラクターやコンバインに農家の方と一緒に乗りこみ、田んぼの中を走ります。でこぼこした土の上で走る感覚や、農業機械の操作の難しさなどを実感できます。

(無料/予約不要：当日受付)



○いけだ農村検定

店舗の看板や窓口に、池田町独自の方言や食べ物、町の取り組みなどについてのクイズを設置しています。池田町民であれば分かる問題も多いので、出店者や来場者に声をかけて聞いてみてください。正答数に応じて素敵な商品をプレゼントします。解答用紙は案内所(こってコテいけだ、お祭り広場)と各店舗にて配布予定(回収は案内所のみ)。



〈環境保全への取り組み〉

○新聞紙マイバック配布

環境に負荷をかけるプラスチックごみを削減するため、池田町婦人福祉会の協力を得て、「新聞紙マイバック」を300個手作りしました。案内所(こってコテいけだ、お祭り広場)にてアンケートにお答えいただいた方にプレゼントします。このバックを持って、町内のお店を巡ってください。



○いけだの畑は直売所

大根や白菜、にんじんなど、旬の野菜を自ら収穫して、量に応じて料金を支払い、そのままお持ち帰りいただける人気企画です。池田町では平成12年より町独自の「ゆうきげんき正直農業」事業をスタート、化学肥料を使わずに土本来の豊かさを取り戻し、農薬の使用を極力減らす、自然や人に優しい農業を推進しています。肥沃な土壌で育った生命力あふれる野菜の採れたての美味しさを味わってください。

※「ゆうきげんき正直農業」について <https://www.nourin-ikeda.jp/yuukigenki/>



【参考資料：いけだ食の文化祭2023 ガイドマップ】

10月中旬以降ホームページにも掲載 <https://www.e-ikeda.jp/event/p004524.html>

いけだ 食の文化祭 2023 11/4(土)&5(日)

10:00-15:00 (店舗によって営業時間は異なります)
主催：いけだ食の文化祭2023実行委員会

出店ガイドマップ 全59店掲載

行きたい場所にすぐ行ける！
Google Mapに簡単アクセス！
お店情報も掲載！
各会場にそのまま向かえます！

スマホで読み取って行きたいお店をチェック！

こってこていけだ 周辺

「帰ってきた」池田町お米づくり風景観望 農業機械乗車体験

まちの駅 こってこていけだ

- 6 まちの駅 こってこていけだ
- 9 K.H.D
- 10 おむすび五兵衛
- 11 肉家にくすけ

WOOD LABO IKEDA

- 50 WOOD LABO IKEDA
- 51 北陸電力株式会社

総合案内所 (お祭り広場)

米俵をかっこあげた方には池田町の新米をプレゼント！

- 28 かわつぢ チャレンジ会場

Artist Arch

- 29 くさとき
- 30 魚見手作りこんにやく道場
- 32 あすなろカービング倶楽部FUKUI
- 33 Save the 榎 project

こってこていけだまで車で約20分

まちの駅 周辺

まちの駅 周辺 (お祭り広場)

- 12 OLULU★オオルル
- 13 みちみち
- 14 Nature Spirits
- 15 手作り工房 輪
- 16 ステンドグラス
- 17 エムエークラフト

お祭り広場・森林組合

- 18 JA池田地区女性部 フレッシュミスの会
- 19 池田町商工会 女性部・ジュニア部
- 20 池田町生まれのきのこ カンタケ屋
- 21 ジャクナグの会
- 22 農事組合法人 月の舞
- 23 池田町農業公社 (おこもじ屋)
- 24 いけだレコード

ぬくもり茶屋 周辺

- 25 ぬくもり茶屋 (あざみグループ)
- 26 深波温泉 冠荘
- 27 ma craft & herb
- 28 コムニタ お米のパン屋さん
- 29 身体が喜ぶMyおやつ

こってこていけだまで車で約10分

おたのしみ企画！

新名物！ いけだ玉まんじゅう 食べ比べ 場所/お祭り広場

池田町の野菜やジビエを使用。薄皮の中に具がぎゅっしりつまったもちもちとした食感の玉のようなまんじゅうです。全種類食べ比べてみよう！ (各150円 限定100食/各日)

- かぼちゃ煮** かぼちゃの自然な甘みを活かしました。
- 豚だれいこん** 醤油で煮込んだ大根と豚肉の絶妙な組み合わせ。
- 鹿すき焼き** 甘辛く炊いた鹿肉。たっぷりジビエも。

いけだ 農村検定

いけだ農村検定2023

1～④の店舗に設置された検定問題にチャレンジ！正答数に応じて素敵な商品をプレゼント！

※解答用紙は案内所および各店舗でもらえるよ！

※ルール等の詳細は、解答用紙を確認してね！

「環境のまち池田町」にご協力を！

イベントで購入した商品に付いたごみは、購入された店舗にお返しください。

自宅から持ち帰りたいものからたばこ(ペレット)などには、ご自分でお持ち帰りください。

こってこていけだ及び総合案内所に、エコステーションがあります。池田町のゴミ分別ルールを守って頂いて、ご活用ください。

マイバッグをご持参ください。レジ袋を有料化しておりますので、ゴミの削減にご協力をお願いします。

■「あたりまえをたやさないまち」池田町

福井県池田町は人口約2300人、森に囲まれた小さな町です。

心をいやす日本の原風景、作物をいつくしむ感謝の気持ち、人と人が思いやり、支えあって暮らす「あたりまえをたやさないまち」を目指しています。

池田町町長・杉本博文

「人々が共同して暮らす小さな社会だからこそ、人々が関わりあえる、相互扶助が生きるまちでありたいと願っています」

